

[報告 3]

## 地域協同組合の歩みと組合員組織基盤づくり

松下雅雄 (JA はだの代表理事組合長)

JA はだのは、「夢のある農業と次世代へつなぐ豊かな社会を地域できずく」を基本理念に、地域農協を目指してきた。特に、①次世代 ②地域 (消費者) ③アジアとの「3 つの共生運動」に重点をおき、①については、学校農園をはじめとした食農教育等、②については、地域での交流イベントを積極的に開催。6 年前からは、「じばさんず」というファーマーズマーケットを立ち上げ、好評をいただいている。③については、組合員に夢を与えたいという思いから、韓国や台湾、中国など、アジア地域の農家や農協との交流を推し進めている。

組織的に特徴のある点は、2005 年に「はだの都市農業支援センター」を開所し、市から 5 名の職員を派遣してもらっていること。これによって、農業の支援機能の一本化が実現している。

私たちは、JA は組合員の民主的な運営でなければいけないと考えている。そのために、まず、組合員を含めた約 1 万人の組合員を対象にした総会を開催している。7,000 人を超える准組合員の方々にも、「おらが農協」という意識を持ってもらうことが重要だからだ。この総会のために各集落から 17 台の専用バスを出し、帰りには、それぞれが地域で 1 杯お酒を飲みながら、総会・JA について意見を交わす。これが、JA はだのを支える一つの力になっていると認識している。

また、春と秋には、決算内容を説明するための座談会を開催している。ここでは実にいろいろな意見が出てくるが、それをしっかりと拾って、JA に持ち帰り、必ず検討することになっている。

さらに、組合員訪問日を実施し、毎月 26 日に、職員が手分けをして組合員全戸を訪問している。これは、「今、農家はどんな仕事をしているのか」「何を必要としているのか」といったことを肌で感じるための職員教育の場であるとともに、JA と組合員のつながりを太くする機会でもある。また、こ

の日は JA の広報の発行日でもあり、それを訪問配布することで、情報を新しいうちにすべての組合員に届けることができる。さらに、資材の注文の回収なども同時に行なうようにしている。



その他に、事業ごとに運営委員会を設置し、そこが主体となって活動を展開するようにしていること、さらに女性の参画についても積極的に促進している。

文化のないところに人は集まらないということで、私たちは、文化活動にも積極的に取り組んでいる。

- ① 農業まつりを毎年 11 月に開催。農家と市民が一緒になって、収穫を喜び合うとともに、1 年間の活動の報告を行なっている。
- ② 雑誌『家の光』を活用し、学び合いや文化活動の基本にしている。
- ③ 教育委員会と連携した書道・図画・作文コンクールの開催。優秀作品については韓国などと交換展示するなど、国際色豊かなコンクールとなっている。
- ④ 20 数年に及ぶ学校農園の取組。
- ⑤ 市内小学校の学校給食への食材提供。
- ⑥ 国際協同組合デーの開催。
- ⑦ 「市民の日」イベントに、生協・森林組合等の連携による協同組合広場を開設。
- ⑧ JA 図書室の利用呼びかけ。
- ⑨ 市民文化祭への参画。
- ⑩ 韓国・知道農協との姉妹締結および韓国農協中央会坡州市支部との友好契約締結。

- ⑪ 市内の小学校、高学年の子どもたちを対象に、新潟や山梨の JA と連携した体験学習＝夏休み・冬休み子ども村の実施。
- ⑫ ふるさと料理集の発行。
- ⑬ 地域の防犯活動に全面協力。

JA の職員を対象とした教育活動の取り組みとしては、①協同活動リーダーの養成。これは、農協の生い立ちや歴史を含めた学習の場だが、現在、正組合員の半数である約 1,500 人が、このコースを修了している。彼らは JA はだのの財産であり、この活動は、JA はだのにとって極めて重要なものだと考えている。②国際的視野に立った組合員の育成。③組合員の文化意識を高めるため、各種講演などを実施。④アジアとの共生活動。⑤組合員や市民向け機関紙の発行。⑥協同組合の原点に立ち戻るため、それを提唱した賀川豊彦、安居院庄七の碑を建立。

JA が地域のどまんなか存在し、活性化の役割を担っていきけるよう、私たちはその他にもさまざまな活動を展開している。

- ① デイサービスセンターを中心とした福祉事業。これにより、地域の中の JA という位置づけが明確になった。
- ② ファーマーズマーケット「はだのじばさんず」の運営。地域の女性たちに非常に活気が出てきており、最近では、その売上げは 10 億円に近づきつつある。
- ③ 「セレモニーホールはだの」の運営。
- ④ 「場 V 協同コンサルトはだの」を運営し、地域の土地活用を促進。
- ⑤ 特定農地貸付事業として市民農園「さわやか農園」を開設し、300 区画を市民に貸付。